

成果指標				
成果指標	執行率(%)=(需用費等)決算額÷予算額			
指標設定の考え方	支出削減でコスト縮減につながる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	90%	90%	0	0
実 績	88.7%	72.4%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	コスト意識の徹底により効率的な予算執行を行うことができた。また、人夫賃金や街路灯の修繕等に要する経費についても、担当間の事務分担の見直しにより、迅速かつ効果的に執行することができている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	道路・橋梁等の施設管理において必要な経費であり、引き続きコスト縮減しながら事業執行を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題